

「第三次山形県生活排水処理施設整備基本構想」見直しの概要

構想の概要

- 生活排水処理施設（下水道、農業集落排水施設等、合併処理浄化槽）の整備を計画的に推進するもので県が示す基本的な考え方（3つの基本目標）を基に各市町村が生活排水処理施設整備計画を策定し、それらを県で取りまとめ、構想として策定
- 生活排水処理施設の普及状況を踏まえ、社会経済情勢の変化等に対応するため、市町村整備計画を見直し現在の三次構想を再度改定

見直しの趣旨

＜社会経済情勢の変化＞

- 県内人口減少・高齢者世帯増加の加速化
- 生活排水処理事業の持続可能な取組みへの対応
- 大規模災害等への対応
- 循環経済への移行に向けた取組み

＜過去の見直し状況＞

- 平成7年度 第一次構想
- 平成17年度 第二次構想
- 平成27年度 第三次構想
- 令和2年度 第三次構想（改定）

●現状と課題

- ・生活排水処理施設の整備はおおむね順調に進捗（令和6年度末 94.9%）
- ・生活排水処理施設の未普及地域における施設の整備促進が必要

＜浄化槽の整備＞

- 地域間格差・中山間地域における整備の遅れ
 - ・普及率は地域によって格差（69%～100%）があり、普及率の低い地域の向上が重要

○全浄化槽の5割(3万基)を占める単独処理浄化槽の転換

- ・普及率を高めるため、単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への一層の転換が必要

○少子高齢化等による個人の投資意欲の低下

- ・高齢化世帯の増加により合併処理浄化槽への転換意欲が低下

○設置者個人の大きな費用負担

- ・一般的な家庭用浄化槽（5人槽）の設置費用は100万円前後

＜集合処理施設の運営管理＞

○執行体制の脆弱化(ヒト)

- ・官民双方の下水道等の職員不足により、維持管理や災害対応の遂行能力の低下、技術の継承が困難

○老朽化施設の増大(モノ)

- ・集合処理施設（管路を含む）の老朽化の進行に伴い、改築や更新にかかる費用が増大

○使用料収入の減少(カネ)

- ・人口減少に伴い、使用料収入が減少し、経営が一段と厳しくなる見込み

○災害対応力の強化

- ・令和6年能登半島地震や埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故などの教訓を踏まえた対応の要請

＜汚泥の有効利用＞

○有効利用が少ない浄化槽汚泥

- ・下水道汚泥に対し、有効利用が少ない浄化槽汚泥

●施策の方向性

- ・水環境の保全と良好な生活環境の確保を目指し、今後も引き続き合併処理浄化槽への転換やより一層の施設整備を推進

○公共浄化槽の整備促進

- ・計画的に設置できる公共浄化槽*の整備促進
- ※市町村自らが設置し維持管理する浄化槽

○個人負担軽減への支援

- ・国の交付金に加えて県と市町村が連携して助成

○人口減少を考慮した管理計画の策定

- ・処理水量や使用料収入の減少を考慮
- ・老朽化した施設の計画的な更新・長寿命化

○広域的な統廃合や維持管理の共同化

- ・下水道・農集排の統廃合や複数市町村等による処理区の統合、維持管理の共同化の検討

○事業経営の健全化

- ・適切な料金設定
- ・経営戦略の定期的な見直し
- ・水洗化率向上の取組み

○官民連携手法の導入検討

- ・民間企業のノウハウ・創意工夫による事業の効率化

○国土強靱化への取組み

- ・地震災害に強い浄化槽の整備
- ・急所施設や避難所等の重要施設に接続する下水道管路の耐震化
- ・管路の複線化や分散化の取組みによるリダンダンシー・メンテナビリティの確保

○汚泥処理の共同化

- ・浄化槽汚泥等を下水道で処理し全体の汚泥の有効利用率を向上

○県民への啓発活動

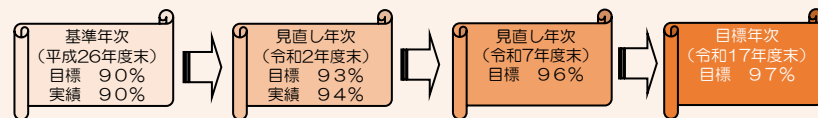
- ・浄化槽の設置、適正な維持管理の重要性
- ・リサイクル汚泥の利用

●生活排水処理施設整備計画（目標値の変更）

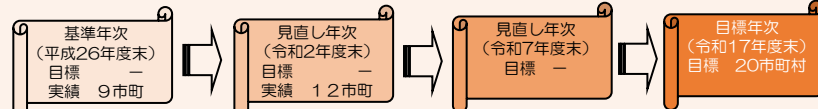
生活排水処理施設の早期整備（目標年次 令和17年度）

①生活排水処理施設の普及促進

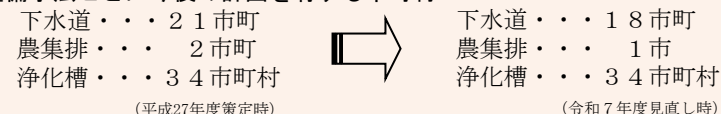
- ・生活排水処理施設普及率（令和6年度末実績 94.9%）【継続】



- ・概成※市町村数（令和6年度末実績 14市町）【新規】 ※生活排水処理普及率95%以上



②整備手法ごとに今後の計画を有する市町村



③整備手法の見直し

- 下水道から浄化槽へ整備手法を変更した区域を有する市町村・・・12市町村

●集合処理施設の効率的な改築・更新及び運営管理

①施設の統廃合と接続（令和6年度末実績 24地区）【継続】

事業の種類	地区数 (R31までに計画されている地区数)		
	当初計画	R2見直し	R7見直し
農集排の統廃合	21	23	24
農集排を下水道へ接続	30	50	51
下水道を農集排へ接続	1	1	1
公共下水道を流域下水道へ接続	1	1	1
公共下水道を公共下水道へ接続	3	3	3
し尿処理を下水道へ接続	3	3	3
合計	53	81	83

②耐震化、長寿命化などに関する計画の実行【継続】

●汚泥の有効利用（目標年次 令和17年度）

①汚泥の有効利用率【継続】



基本目標 2

基本目標 3